

今回の生徒心得見直しは、令和3年11月に生徒皆さんから集めた意見を生徒会執行部で検討し、学校評議員やPTA役員の皆さん、先生方で話し合っただけで決まったものではありません。

今回、僕が掲げた公約の「校則の見直し」が皆さんのおかげでここまで来ることができました。そこで、皆さんに三つ伝えたいことがあります。

一つ目、前にも言いましたが、僕は校則を変えることが目的ではありません。生徒一人ひとりが関心を持って、今の心得に向き合っただけで、どうあるべきかしっかり考えてほしいと言いました。この見直しで心得について「初めて知った」や「そうだったかな」と思った人、もしくは疑問が湧いてきた人、きつといると思います。こういう思いがすごく大事で、またこういう思いから「もっとこうしたらいいよね」という考え（意見）がクラスでもたくさん出たと思います。これこそが「生徒が主体的に参加する校則の見直し」だと思います。今回の見直しで生徒の意見で変わった項目ももちろんありますし、表記の仕方が変わった項目もあります。つまり皆さんがしっかり考えて見直しができるということだと思います。

しかし、生徒の意見が全てそのまま取り込まれたわけではありません。これが二つ目です。この見直しには生徒はもちろん、先生方や保護者の方々、地域の方々の意見も入っています。これは決して僕らを縛るためなんかではありません。僕らも保護者の方々、地域の方々と話し合いましたが「私たちのために」としっかり考えてくださっています。より良い江南中学校にしたいという願いは同じです。さまざまな立場から検討されて決定したものです。

最後です。昨年度に引き続き、生徒の意見が取り入れられ生徒心得の見直しがなされました。ということは、僕たちは責任を持って守らなければいけません。生徒会執行部は皆さんの意見を収集し、何度も検討しました。もし守られないようなことがあれば私たち執行部を中心に対策を考えていかなければなりません。「やっぱり生徒の意見を入れるべきではなかった」とならないように、「生徒の意見を入れてよかった」となるよう、責任を持って守り、学校生活を楽しみましょう。また今回見送られた項目はこれからも検討していく予定です。

以上のことを意識して、今後も生徒心得をしっかり守っていきましょう。

令和4年1月25日 生徒集会での生徒会会長の話より